



No. 38
発行責任者
依田 操一

新年のご挨拶

古市学区社会福祉協議会 会長 依田 操一

皆様、新年明けましておめでとございます。お揃いで輝かしい新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

古市学区社協も令和元年

の総会から新しいメンバーで活動しています。

社会環境は少子高齢化がますます進展し、今後の社会生活に大きな問題をほらんでいます。



令和2年1月12日
小瀬のとんど

2022年からは、団塊の世代が75歳を迎え新しい社会保障問題が提起するものと思われまます。また2025年には、65歳以上の高齢者の五人に一人が認知症になるという推計もありまます。

このような情勢の中で古市学区社協では、長い間住み慣れた地域で安全、安心で、心豊かに暮らせる町づくりを目指して活動しています。2か月に一回町内の各種団体の代表者による福祉のまちづくり委員会を開催して町民の福祉の向上に役立つ検討・実践を行っています。

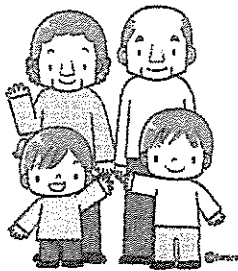
①近隣ミニネットワーク活動
また総合推進事業として

「古市あんしんネット」を地域包括支援センター・民児協の協力により立ち上げ、学区内の高齢者の見守りや支え合い活動に取り組んでいます。

②ふれあい・いきいきサロン
一人暮らしの高齢者を対象に交流と健康増進の場として町内を三地区に分け年四回ずつ開催しています。

③ボランティアバンク活動の推進
原則として75歳以上の人暮らしの方を対象に、日常生活でお困りのこと等を手助けしています。

引き続き町民福祉の充実と強化に努めて参りますので、皆様には変わらぬご支援・ご協力をお願いします。



ゆずり ゆずられ

令和元旦、ご来光を拝もうと宮島の弥山に登った。幸いに天気が良く初日の出を見ることができた。すご

い人で、ロープウェイも登山道も数珠つなぎになるほどの多い人には驚かされた。我々は、年齢に応じてゆつくり登るので、若い人に道を譲りながら登った。一方、日本では乗り物で若い人が座席を譲らないと外国人から批判が出ています。電車に乗ると一斉にスマホを取り出し必死に操作し、操作し出すと周りが全く見えなくなるようだ。(今は若い人にかぎらないが)

日本では、行列に並ぶことに慣れているのか、あまり割り込みなどのトラブルは少ないようだが、このギャップは何なんだろうと、時々考えてしまう。

いずれにしてもマナーの問題だと思われるがマナーが良いのか、悪いのか？

令和元年度 事業報告

令和元年度に取組んだ事業等を報告します。

事業名	内 容	実 施 月											
		1	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総会、理事会、協議委員会等	事業計画、事業報告、予算、決算、役員改選等に関する事項の審議、敬老会の実施説明		○	○		○	○						
福祉のまちづくり委員会	福祉事業を実施するための意見交換会	○		○		○		○		○		○	
ふれあい・いきいきサロン	一人暮らしの高齢者の交流の場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボランティアバンク活動	高齢者を対象に日常生活で困り事の手助け	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古市保育園交流会	七夕会やお楽しみ会（クリスマス）へ参加				○					○			
安佐南中学校等合同清掃	生徒と地域団体合同で緑道公園の清掃活動				○								
敬老会の開催	長年にわたり地域や家族のために尽力された高齢者に敬意を表し敬老会を開催							○					
赤い羽根街頭共同募金活動	地域福祉活動の財源確保などで実施									○			
福祉大会（市社協、区社協）	地域貢献者の表彰、講演会の実施									○			
カレンダー発行	各種団体等の行事予定や事業報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広報誌 社協ふるいち発行、広報委員会	年2回新聞の発行、広報委員会年2回開催				■				○		■		○
安佐南区社協、民生委員会合同研修	地域福祉を推進することを目的に実施												○
地区社協役員等実践研修会	講演会「私たちの地域にこれから起こること」						○						
地域福祉推進委員研修会	推進委員の役割や心構えについての研修									○			
研修会 会長・福祉推進委員	区社協の事業計画や助成金交付について説明				○								
	他地区社協との意見交換会												○
	ふれあいサロン小野（松山市）視察研修												○

みんなで「出来る！」を出し合って、ウチらワシらの地域（まち）づくり

福祉推進委員 山口 高正

11月25日 広島市社会福祉協議会主催の講演会に参加しました。その概要は次の通りです。

① 2025年問題

○ 団塊世代が後期高齢者となる。国民の3人に1人が65歳以上に、また、5人に1人が後期高齢者に。高齢者5人に1人が認知症？という大変な状況になる。

○ この問題は「2025年からの問題」であり、今後継続する。このつけは子どもたちの負担になり、今私達がすべきことは、健康で若い世代に負担をかけないよう努力することである。

○ 高齢化率が高いことが問題ではない。私たちが健康であることは、人や地域とのつながりである「社会性」を育むことである。

② これまでの介護からこれからの介護予防へ

○ 対象が介護予防準備軍から高齢者に変更され、目指すのも身体・精神の向上から社会参加へ。介護予防サービスタから居場所・支えの場が変わっていく。

○ 施設に入居すると地域との居場所や支えの場など社会参加がなくなる。今後は施設と地域の関係をどのよう築いていくかが課題である。

③ 社会参加している人は、うつ病のリスクが7分の1に減！

○ 社会参加している人は、生活満足度や自尊心が高く精神的健康状態が良いことが研究で明らかになっている。また、社会参加で役割を持つている人がうつ病にかかる確率は持たない人の7分の1。特に男性はうつ病を著しく制御することが分かっている。

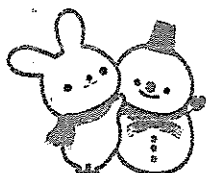
④ 一人で食事は、2.7倍うつ病になりやすい

○ 高齢者のうつ病予防は、孤食ではなく共食を進める

施策が必要である。⑤ 健康の秘訣・健康長寿の秘訣は、地域行事やコミュニケーション活動に参加し社会性を持つ。毎日適度な運動を。食事は肉料理など、よく噛み、そしゃく運動を。

⑥ まとめ
社協や町内会が支え合い活動を行う事も重要であるが、地域の方々など近隣の方が支え合うことが大切である。昭和50年頃までは「向こう三軒両隣り」がお互いに支え合っていたが、残念ながら個人情報保護法から隣の事を知ることができなくなった。福祉推進委員には、みんなで「出来る！」を出し合って、ウチらワシらの地域づくりを目指し活動をお願いしたい。

以上、講演は大変分かり易く地域や各種団体との関わり方や見かたについて考えさせられた。この研修で学んだことを今後の活動に活かしたい。

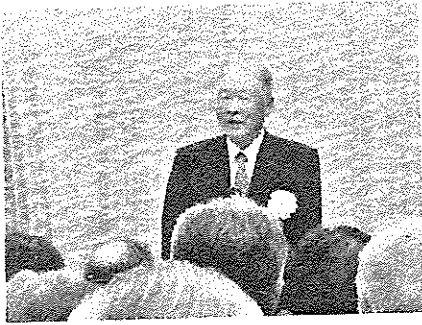


長寿おめでとうございます

敬老会

9月16日古市公民館において、長年にわたり地域や家族のためにご尽力された高齢者に敬意の気持ちを表すと共に、健康と長寿を祈念して「敬老会」を開催しました。

75歳以上、5歳刻みで対



会長あいさつ



会場へ小学生が案内

象の方251名にご案内し、当日は、88名の方の出席をいただきました。

会長が①連合町内会が敬老会の経費を助成していること。②民児協・社協評議員の協力で敬老会を運営していること。③皆さんは地域の行事に参加し、健康寿命を伸ばし、何時までも元気で過ごしてほしい旨のあいさつの後、児童・生徒の歌や劇、地域の方の歌や踊りで楽しいひと時を過ごされました。

敬老会謝辞

大田 孝子 (小瀬)

本日は敬老会にお招きいただきありがとうございます。今年の夏の暑さは、私達高齢者にとってはとても厳しい毎日でした。そして、各地では台風や豪雨による災害が多く見られ、被災地の皆様には心から申し上げ一日も早く復興できることを願っております。

また、新聞やテレビの報道で、幼い子供への虐待や

高齢者への詐欺、交通事故等暗いニュースばかり目にし、心が痛みます。でも、来年は待ちに待った「東京オリンピック」が開催されます。選手の皆さんの活躍を期待しながらテレビ観戦をしたいと思えます。

これからは、健康で自立できる生活を保つため、健康寿命を伸ばし、少しでも地域に貢献できる人でありたいと願っております。

終わりになりましたが、この会を開催するにあたりお世話くださった多くの皆様方に感謝とお礼を申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



大田さんからの謝辞

安佐南区役所からのお知らせ

安佐南区役所厚生部では、令和2年4月に組織再編を予定しています。再編後の課名・業務内容は下記のとおりとなる見込みです。

課名	主な仕事
地域支えあい課	地域福祉の担い手となる地域団体、保健・医療関係団体、地域包括支援センターなどと連携し、高齢者、子ども、障害者などを含む地域の包括的な支援体制づくりを行います。お住まいの地域ごとに「地区担当保健師」を配置し、訪問指導、健康相談などの地区活動に積極的に取り組みます。また、母子健康手帳の交付、乳幼児健康診査、感染症対策、健康相談、健康教育、各種健診(検診)などの業務を行います。
福祉課	高齢者福祉、介護保険、児童福祉、障害者福祉などの福祉制度の窓口を集約化します。
生活課	生活保護の決定・相談・指導、献血の推進、日赤の活動資金受付、災害見舞金(弔慰金)の支給、総合福祉センターの維持管理などの業務を行います。

問い合わせ先/安佐南区役所厚生部生活課庶務係 TEL082-831-4939



古市小児童合唱



アトラクション オカリナ・ギター演奏

これで安心

救急医療情報キット

一人暮らしや家族のいない時、急病で倒れた場合救急車を呼ぶことができて、その人の病気層、持病、血液型、常備薬があるか等を、救急隊員に確実に伝えるためのものです。

古市学区社協では、平成24年度から高齢者等に対し、急病等の緊急時に必要な情報（かかりつけの医療機関、既往歴、緊急連絡先等）を保管する救急医療情報キットを設置し、安心して暮らせる福祉のまちづくりに取り組んでいます。

取組から7年が経過し、医療情報カードの情報が変わっている可能性があります。現在の新しい情報に変更するため、医療情報カードを配布しています。

また、新規に「救急医療情報キット」を申し込みされる方（本人負担一〇〇円必要）もボランティアバンク古市まで。

電話 876 2390
毎週月・水曜日
午後1時～午後4時

ご存知ですか？
ボランティアバンク古市
平成23年9月29日に古市学区集会所二階に開設したボランティアバンク古市。家庭内での簡単な作業、話し相手、子どもの見守り、植木の剪定など、日常生活で困りごとなどをお気軽に相談ください。

また、相談に迅速に対応するために、ボランティアスタッフを募集しています。今までに培った技術や知識を、地域に役立て發揮できるチャンスです。ぜひあなたの力をお貸しください。

相談やボランティア登録希望の方は、毎週月・水曜日の午後1時から4時まで、ボランティアバンクに直接来所または電話でご連絡ください。

電話・FAX 876 2390

に貼ります。
○情報用紙
*本人情報（氏名、生年月日、血液型）
*かかりつけの病院（科目、担当医、治療中、病名など）
*緊急連絡先など
救急医療情報キットは、冷蔵庫に保管しておきます。



赤い羽根募金

戸別・法人・医療会員 431,600円
街頭募金
（安佐南区民まつり）
安佐南区民文化センター 41,969円
ご協力ありがとうございました。



表彰者一覧

【広島市長表彰】
猫田 禮子

【広島市社会福祉協議会 会長表彰】
谷崎 勝之

【安佐南区社会福祉協議会 会長表彰】
栗栖 英子 猫田 禮子 村上 善政

おめでとございます。

編集後記

先日八木用水の安川サイフォン手前（広島共立病院前）に土砂等を溜める深い場所の清掃があり、終了検査に立ち会った。作業責任者からきれいな真砂土がたくさん溜まっていたとのこと。何故真砂土がとったら、平成26年8月豪雨で安佐南区八木・緑井・山本地区の他に、安佐北区可部地区の一部で記録的集中豪雨が発生し、大規模な土石流が発生。現在、懸命に被災地の整備と砂防ダムの建設が行われている。その作業関係で八木用水に真砂土が流れ込んだのか？と話題になった。

しかし、最近では豪雨や地震等の災害が多く、普段から家族で災害の種類に応じた避難方法や場所の確認、また非常持出品の準備など、皆さんは準備できていますか？ 僕自身、避難場所はわかるけど、非常持出品は未準備。やはり準備しとかないと、と焦る。